令和7年度
博物館等施設 企画展
企画書

軽井沢町教育委員会

目 次

項 目	ページ
軽井沢町歴史民俗資料館企画書	1
追分宿郷土館企画書	3
堀辰雄文学記念館企画書	5
軽井沢町植物園企画書	6

令和7年度 歴史民俗資料館 企画書

○特別展

1. 主 旨

大正4（1915）年に草軽軽便鉄道の新軽井沢-小瀬温泉間が開通し、営業を開始してから来年で110年を迎える。近年、昭和37（1962）年の廃線から60年余りが経ち、人びとの記憶からかつての姿は忘れ去られつつあるなかで、本展では今は無き草軽電鉄の姿を当時の資料をもとに浮かびあがらせたい。また鉄道が地域で果たした役割や、人びとに与えた影響など、多様な側面からそのあゆみを紹介する。

2. 名 称

高原を駆ける草軽電鉄 ～地域・人をつないだ鉄道のあゆみ～ （仮題）

3. 期 間

令和7年7月1日（火）～11月15日（土）※11/10（月）休館

4. 内 容

展示は、おおきく4つのテーマで構成される。

第1に「鉄道前史～馬とつなぐ沓掛宿から草津宿まで」をテーマに近世から明治期の交通の歴史を紹介する。第2に「鉄道開通～近代化の足跡」をテーマに創業当初から乗合自動車が運行されるまでの様子をふり返る。第3に、「戦時・戦後の草軽電鉄」をテーマとし、女性車掌の登場や、出征兵士を運ぶ様子など写真パネルなどで、その様子を辿る。最後に「草軽の表象 文学や映画にみられる草軽鉄道」として数々の文学作品や映像作品で取り上げられてきた「草軽電鉄」の姿を特集する。

各テーマ当時の切符やパンフレットなどの実物資料や文書資料、模型、写真パネルなど多様な資料を展示する予定である。

5. 関連事業

特別企画展関連文化講座、路線跡散策会 映画上映会、子ども体験講座

○秋季特別展

1. 主旨

地域住民、別荘所有者、観光客にポール・ジャクレーを知ってもらう機会とする。また、軽井沢における芸術・文化、そしてそれらが生まれた社会的、歴史的背景に触れることで、地域や時代の特性を理解することを目指す。

2. 名 称

「ポール・ジャクレー展～軽井沢を愛したフランス人浮世絵師～」

3. 期 間

令和7年9月1日（月）～10月31日（金）

4. 内 容

ジャクレーが手がけた多色摺木版画 20 点余りを紹介する。

5. 関連事業

秋の文化講座

令和7年度 追分宿郷土館 企画書

○特別展

1. 主 旨

追分宿郷土館開館40周年を記念し、特別企画展を開催する。

江戸期、2つの街道の分岐点に位置し繁栄した追分宿を中心に、「浅間根腰の三宿」とうたわれた軽井沢宿・沓掛宿の「宿場町」の成り立ち、機能等を史料（浮世絵・印刷物・古文書など）、宿場で使われた民具等に基づいて解説し、江戸時代の軽井沢の宿場を紹介する。

2. 名 称 追分宿郷土館開館40周年特別企画展
「追分宿の歩み」（仮題）

3. 期 間 7月19日（土）～10月（予定）

4. 内 容

郷土館で所蔵している江戸期の出版物・浮世絵・古文書・宿場で使われた民具等の資料と、イラスト入り解説パネルを作成して、追分宿を中心に軽井沢の宿場町を紹介する。

5. 関連事業 江戸期の宿場町をテーマとした教養講座を開催

○企画展①

1. 主 旨

中軽井沢在住の写真愛好家 松井勝男氏の山岳写真パネル展を開催。

浅間山を中心に県内の山々の四季折々を写した写真パネルを展示して紹介する。

2. 名 称 「山との対話－松井勝男写真展－」（仮題）

3. 期 間 4月3日（木）～7月16日（水）（予定）

4. 内 容

平成21年度に松井勝男氏より寄贈された、浅間山及び長野県内の山々など計23点の山岳写真パネルを展示する。

○企画展②

1. 主 旨

追分ゆかりの書家 稲垣黄鶴が没した翌年の平成 19 年から、黄鶴の書齋に似ている離山公園旧雨宮邸新座敷で、遺族の協力のもとテーマを決め企画展を開催している。

リピーターも多いことから、継続して開催する。

2. 名 称 「稲垣黄鶴 書の世界」(仮題)

3. 期 間 7月1日(火)～10月31日(金)(予定)

4. 内 容

郷土館に収蔵している作品からテーマを決めて漢字・かなの作品から額装・軸装・屏風・折帖・色紙、遺愛品などを展示する。

○企画展③

1. 主 旨

例年、小学3年生の社会科単元「昔の道具」の学習時期に合わせてコーナー展示を行っている。

本企画展では、道具と生活の変遷をわかりやすく展示すると共に、体験コーナーを設け、理解を深めてもらう展示を行う。

2. 名 称 「昔の道具と遊び」(仮題)

3. 期 間 10月～令和8年3月(予定)

4. 内 容 所蔵資料から、明治期以降に使用された道具等展示。

令和7年度 堀辰雄文学記念館 企画書

○企画展①

1. 主 旨

堀辰雄の小説『菜穂子』は、2部構成となっており、作品が完成する7年前に発表した「物語の女」を大幅に加筆した第1部「楡の家」と、新たに執筆した第2部「菜穂子」からなる、堀の代表作のひとつである。

令和6年度に新収蔵予定の「菜穂子創作ノオト」は、堀がこの『菜穂子』の執筆のため長い間書き溜めていたノート・メモ類を1冊の手帳に整理したものである。

本企画展では、新収蔵資料を中心に関係資料により追分が「O村」として登場するなど、追分にゆかりの深い小説『菜穂子』の世界を紹介する。

2. 名 称 「小説『菜穂子』の世界」(仮題)

3. 期 間 3月20日(木・祝)～7月8日(火)(予定)

4. 内 容

「菜穂子創作ノオト」及び収蔵資料から書簡・メモ・初出雑誌・初版本・写真等の資料により、小説『菜穂子』の作品の背景や、追分との関係など、作品の世界を紹介する。

5. 関連事業 野いばら講座

○企画展②

1. 主 旨

堀辰雄は、小説『美しい村』をはじめ、旧軽井沢を舞台にした、小説・詩・エッセイ等、多数の作品を発表している。

本展では、旧軽井沢に関連した作品を、関係資料等を展示して、堀と旧軽井沢の関係、作品に出てきた場所を紹介する。

2. 名 称 「堀辰雄と「美しい村」をめぐる」(仮題)

3. 期 間 7月10日(木)～12月27日(土)(予定)

4. 内 容

収蔵資料のノオト・書簡・初出雑誌・初版本・写真・遺愛品などの資料やマップ・解説パネル等により、作品に出てくる旧軽井沢を紹介する。

5. 関連事業 緑陰講座、堀辰雄を語る会(講演会)

令和7年度 軽井沢町植物園 企画書

①ミニ企画展

1. 主 旨 多様な植物が生育する軽井沢、その軽井沢の植物を中心に栽培する当植物園には、四季を通じて多くの植物の生きている様が見られる。本ミニ企画展では、季節毎に見られる多様な植物について、その生態写真や標本等を活用し、それぞれの名前の由来や特徴等を紹介することで、地域の植物の興味関心を喚起することを目的とする。

2. 名 称 ミニ企画展「花図鑑（仮題）」

3. 期 間 令和7年4月5日（土）～12月14日（日）（予定）

4. 内 容 写真や標本等を活用し、その名前の由来や、観察のポイント等を紹介する。ワークシートも用意し、利用者の学習支援に努める。

5. 関連事業 植物観察会 町植物園 4月～10月（1～2回／月）（予定）

②ミニ企画展

1. 主 旨 牧野富太郎博士をはじめ多くの植物学者が訪れた軽井沢、その軽井沢からは多くの未知の植物が発見、新種等の新分類群として報告されている。本ミニ企画展では、軽井沢で発見された植物について、希少な基準植物標本の写真や、関連文献、生態写真等を活用し、それぞれの多様な生き様を紹介することで、地域の植物の興味関心を喚起することを目的とする。

2. 名 称 ミニ企画展「軽井沢で発見された植物（仮題）」

3. 期 間 令和7年5月～11月（予定）

4. 内 容 軽井沢で発見された植物について、基準標本の写真や記載文献、生態写真等を活用し、その植物の生き様を紹介する。

5. 関連事業 植物観察会 町植物園 4月～10月（1～2回／月）（予定）